

## 五千人に食べ物を与える

ルカによる福音書 9:11b-17

（そのとき、イエスは群衆に）神の国について語り、治療の必要な人々をいやしておられた。日が傾きかけたので、十二人はそばに来てイエスに言った。「群衆を解散させてください。そうすれば、周りの村や里へ行って宿をとり、食べ物を見つけるでしょう。わたしたちはこんな人里離れた所にいます。」しかし、イエスは言われた。「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい。」彼らは言った。「わたしたちにはパン五つと魚二匹しかありません、このすべての人々のために、わたしたちが食べ物を買に行かないかぎり。」というのは、男が五千人ほどいたからである。イエスは弟子たちに、「人々を五十人ぐらいずつ組にして座らせなさい」と言われた。弟子たちは、そのようにして皆を座らせた。すると、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二籠もあった。

### 説教

わたしたちは毎週日曜日にキリストの聖体をいただくという式をおこなっています。週に一回の聖餐式です。では毎日聖餐式をおこなってはダメなのか？というところではありません。毎日でもかまいませんという考え方もあり、実際に毎日聖餐をいただく方も大勢います。キリストの体をいただくという聖餐の儀式は毎日でもかまわないし、極端にいつてしまえば一生に一回でもいいのです。

仮にわたしたちが五千人の中の一人だったとします。

**イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。すべての人が食べて満腹した。**

ルカ 9:16-17

イエスさまの裂いたパンをいただいた五千人はまた来週もとイエスさまのところに押し寄せるでしょうか。わたしなら一生に一度の出来事、思い出として大切にします。

ところで、わたしは高血圧症と診断されているので毎日クスリを一錠飲んでいますが。以前は2錠だったのですが、一粒で2錠分の効果のあるクスリを処方されて一錠になりました。そのうち一週間に一粒、いやいや一年に一粒で効き目のある新薬が開発されるかもしれません。楽しみにしています。

信仰を技術と関連づけるには違和感がありますが、礼拝技術が発展して一ヶ月に一回の礼拝だけの教会が生まれるかもしれません。天才的な司式者、司祭が一年に一回、一生に一回、イエスさまのご聖体をいただくことで永遠の命にあずかることができるかもしれません。愚かな話と一蹴することもできますが、存外、的を得た考えなのかもしれません。しかしながらその一方では、わたしたちは愚かで弱い人間という現実があり、おまけに忘れっぽく、欲深いので定期的にイエスさまのご聖体をいただくことが欠かせません。きょうの聖餐が一人ひとりのところを満たすことができますように。

-----